

令和5年度 並木地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

【シーサイドタウン地区】昭和50年代から作られた大規模な団地地区。高齢化率は地区全体では40%程であるが一丁目では約45%と非常に高くなっている。エレベーターが無かったり、隔階止まりだったりする住宅が多く、歩行が困難になると閉じこもりとなるリスクが高くなる。【富岡第一地区】丘陵地の戸建住宅からなる地区。高齢化率は25%程であり、戸建て分譲住宅に子ども連れ世帯が転居している。商店が少なく、バス路線から買い物は杉田方面に行く方が多い。丘陵地であるため、歩行が困難になると閉じこもりのリスクが高くなる。
【今後の方向性】できるだけ住み慣れた地域で自立して生活していけるように、地域での介護予防を進める。また、身近な地域における「集いの場」の活性化や設置を進めるとともに、担い手育成を支援していく。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	自治会町内会や地区社協や民児協の事業や定例会等へ出席し、地域の関係団体との連携を深め、地域情報や課題を把握する。また、現在中止している事業等については、再開の時期を見計らいながら関わっていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	民児協等で、「支援が必要な人」がどのような背景や状況であるかを伝え、把握した場合の対応方法について伝えていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	特定の分野に限らず、地域主体となっている活動に積極的に参加し、地域と課題を共有しながら、必要な機関や事業者とのネットワーク構築を働きかける。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	認知症や権利擁護に関する講座を複数回開催し、地域における認知症や成年後見制度の理解を促進すると共に、潜在的なニーズの掘り起こす。また、消費者被害を防ぐため、日頃からチラシ等を活用して啓発を行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5職種会議等で把握した課題、「家賃滞納」、「アルコール問題」、「エレベーターのない高層階に居住する高齢者」の他、「要支援者の居場所」について、地域ケア会議等を活用して地域住民と課題共有する。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント